



- ・文化、芸術活動等を通じたまちづくり
- ・環境保全活動を通じたまちづくり
- ・食と健康を通じたまちづくり
- ・子どもたちの成長を応援するまちづくり

## 1 「そらのひろば ステラ9」の開場

2018年度にオープンした、札幌ステラプレイスセンター9階屋上の「そらのひろば ステラ9」は、4月28日(金)～10月31日(火)の期間開場しました。地域のコミュニティスペースとして、毎日お子様が遊べるコンテンツを設置し、2023年度は約7万人が来場されました。

6月には「SAPPOROフラワーカーペット」と連携した「JRタワーのフラワーカーペット」を開催、夏休みのイベントには、未就学児から小学生向けに、SDGs人力発電トレインやシャボン玉コーナーのほか動物型ミストシャワーを設置、熱中症対策をしながら親子で体を動かして楽しめるイベントとして実施し、夏休みイベントには約1万人が来場されました。また、10月にはハロウィンイベントを実施、12月にはクリスマスのライトアップを実施予定です。



## 2 「そらのガーデン」の開園

環境保全活動の一環として、屋上空間を緑の潤いで憩う魅力的な庭園にしたいとの思いから、2011年9月、エスタ屋上に「そらのガーデン」がオープンしました。今年は、4月22日～8月31日まで開園し、53,595名が来園しました。



## 3 「JRタワーこども科学展」の開催

夏休み期間中の7月22日(土)～8月6日(日)、「JRタワーこども科学展」を開催しました。2016年から4年にわたり実施してきた「JRタワーこども科学展」。2023年も前回まで同様NPO法人「CANVAS」協力のもと「かんじ、かんがえ、つくる」を実感し、学べるイベントとして実施。

自分の描いた絵がモニターで泳ぎだす「動く水族館」、撮影した自分の顔がアートになる「自分がアートになってみた！」など全7種類の体験型コンテンツで実施しました。



## 4 「ハッピーフラッグ2023」の開催

札幌市内に在学する小学生以下の子どもたちを対象として、フラッグに動物の絵を描くアートイベント「ハッピーフラッグ2023」は、今年も札幌市円山動物園との共同事業によって開催されました(今回で17回目)。応募された1,895点の作品は、3月6日～3月31日までの期間、JRタワー1階東・西コンコース、地下1階東・西通路の4箇所に展示され、たくさんの動物たちが、行き交うお客様の目を和ませました。学年層別にそれぞれ優秀作品を選出し、3月18日に実施した表彰式で各種の賞が授与されています。



## 5 その他の取り組み

### (1)「JRタワーおとな大学」の開催

一般的なカルチャースクールとは異なる単回完結型の公開講演で、北海道にゆかりのある講師を招き、2013年4月より各回定員200名で隔月(偶数月)に開催(過去42回)。2020年度より、3ヶ月に一回の開催(6月・9月・12月・3月)となりました。(6月に第55回の講演を開催)

### (2) アート作品「コインズ」にご支援いただいた募金の寄付

JRタワー開業時の2003年に、JRタワー計画「世界にひろがる北の窓」の国際コンペで選出された作品。野生動物保護の社会的問題をアートで解決したい作者の願いが込められており、アート(シマフクロウ・ゼニガタアザラシ・エゾヒグマ)にコインを投入して募金していただくものです。

2022年3月、202千円を公益財団法人 北海道新聞野生生物基金に寄付。(26回目)

2023年8月、248千円を札幌市円山動物園に寄付。(16回目)

### (3)「児童養護施設」への寄贈

・3月に市内児童養護施設等の377名へ、T'CAFEソフトドリンク付きの招待券を寄贈。(今回で20回目)

・3月に市内児童養護施設等の320名へ、お土産ラーメン・お菓子を寄贈。

(新型コロナウイルス感染拡大前は毎年150名を札幌ら〜めん共和国へ招待していた)

### (4)「夏休みJRタワー子ども見学会」及び「春のJRタワー子ども見学会」(予定)の開催

2023年8月「夏休みJRタワー子ども見学会」を開催。小学校を經由して配布している環境教育情報紙「エコチル」(フリーペーパー)の小学校・札幌版にて告知し、小学校4年生から6年生の20名を募集。「JRタワーの歴史と秘密のクイズ」「JRタワー内施設見学」や札幌市様のご協力にてT38(展望室)からの「まちなみ見学」やホテル日航札幌様のご協力による「食事マナー教室」を実施いたしました。2024年3月は「春のJRタワー子ども見学会」を開催予定です。

### (5)パシフィック・ミュージック・フェスティバル2023(PMF)への協賛

JRタワー内デジタルサイネージ6箇所、PMFの開催情報を発信。

(6月5日(月)~6月11日(日)、7月6日(木)~7月12日(水)14日間実施)

### (6)「サツエキテラス」の開催

札幌駅南口駅前広場に無料で開放する憩いの広場をオープン。札幌市環境局都市推進部様ご協力のもと、「観光中も出来るSDGsアクション」ステッカーを設置して、利用される方にSDGsを訴求。また、新たに芝生エリアを増設して、より快適にくつろげる空間を提供しました。

6月30日(金)~7月30日(日)までオープンし、約13,000名以上が利用。(今回で8回目)

### (7)「サツエキイルミネーション」の開催

札幌駅南口駅前広場を冬季間イルミネーションで装飾。今年は「光の花」や樹木の装飾、フォトスポットなど新しいコンテンツも加えて実施します。

今期は、2023年11月22日(水)~2024年3月14日(木)の期間で開催。(今回で8回目)

### (8)「アートボックス2023」の開催

「アートボックス」は、駅隣接という公共性から芸術・文化の醸成する場の創造を目指し、北海道にゆかりのある新人アーティストに新たな発表の場を提供することを目的に、2009年から公募優秀作品など4作品を3カ月ごとに展示し、JRタワーのパブリックな空間を行き交うお客様にアートを楽しんでいただいております。





- ・観光振興を通じたまちづくり
- ・スポーツに親しみ、誰もが生き生きと暮らせるまちづくり
- ・産業振興、人材育成、教育を通じた活力あふれるまちづくり
- ・地域の安全・安心、災害対策を通じたまちづくり
- ・環境に配慮したまちづく

## NTT グループの北海道における取組みのご紹介

### ■まなびポケットが目指す将来像と北海道での活動



文部科学省 CBT システム (MEXCBT) をはじめ、各種学習教材への児童・生徒の学びの入り口となる学習 e ポータルとして提供している「まなびポケット」。サービス提供開始から7年を迎え、全国では 12,500 校以上の学校でご利用いただいております。北海道では 179 自治体中 84 自治体、全道約 36 万人中 26 万人の児童・生徒にご利用いただいております。(2023 年 9 月現在)

2023 年 12 月末には「さまざまな教育データを統合的に可視化する「ダッシュボード」の提供を開始します。



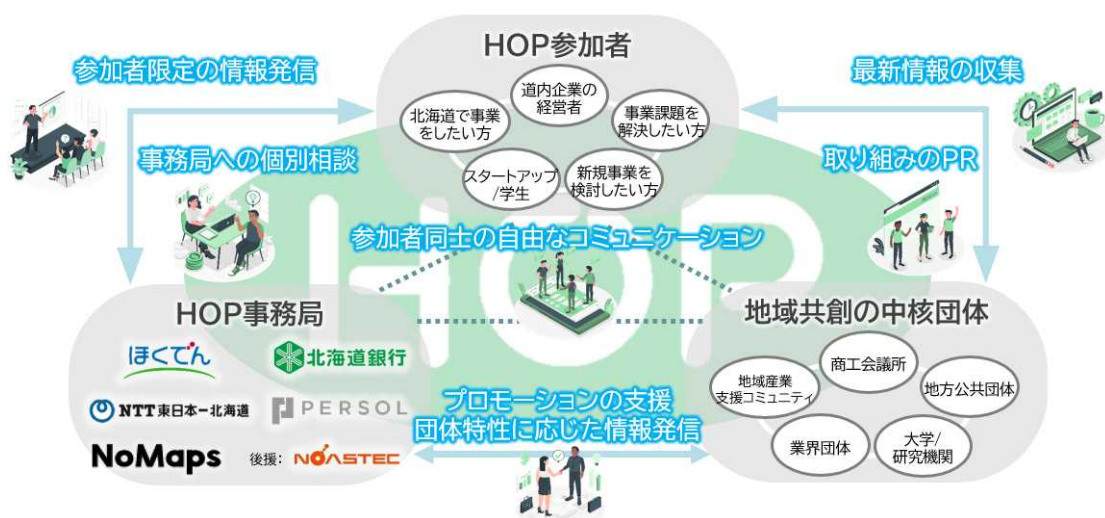
2023 年 12 月末時点では、教育委員会、学校管理者向けにまなびポケット上に蓄積されたデータを可視化する「状況把握画面」を提供予定です。将来的には学習データ・校務データ・行政データをダッシュボード上に一元的に可視化することで、学習者の学びを支える環境をより効果的・効率的に整えていきます。本サービスについては 12 月 20 日(水) 15:00~16:30 開催のまなびポケット web セミナーでも詳細をご説明させていただきます。



## ■道内企業のビジネス活性化



株式会社 NTT 東日本-北海道、北海道電力株式会社、株式会社北海道銀行、パーソルホールディングス株式会社、NoMaps 事務局は、道内企業の皆さまにとってより一層身近で便利に感じていただけるコミュニティにすべく、2023年6月に「北海道 地域応援プラットフォーム」から「HOP (Hokkaido Open Platform)」に名称を変更しリニューアル致しました。NoMaps 事務局との協働運営により、HOP に NoMaps が持つ“多様かつ多角的な人材・情報が活発に行き交うコミュニティ”の強みが加わり、地域や道内経済の活性化への貢献に意欲的な HOP 参加者に対して、新たなつながりの機会を提供することが可能となります。今後も HOP は、参加者同士の交流を促進し、皆さまのセレンディピティな瞬間を提供することで、ビジネスやキャリアの発展をサポートしてまいります。



## ■障がい者の活躍推進



NTT クラリティ株式会社は、設立 20 年目を迎える NTT グループの特例子会社です。

「社員一人ひとりの働き甲斐（輝き）を通して、バリアのない豊かな社会の実現に向け貢献します」の企業理念のもと、健常者・障がい者の区別なく共に働くために、さまざまな工夫やサポートを行いながら、全国 7 拠点で活躍しています。札幌ロケでは、111 名(障がい者 92 名)が働いており、設備、営業、総務業務など、NTT グループ業務の一端を担っております。今後も障がい者の活躍機会を拡大するとともに、地域社会と連携して共生社会の実現に向け積極的に事業を展開してまいります。

※社員数は 2023 年 10 月 1 日現在



■さっぽろレインボープライド 2023 パレードに参加

## ■防災対策の貢献

テルウェル東日本株式会社は、札幌市様の防災備蓄品の棚卸業務を本年度実施させていただいております。他に物資の輸送、移設、備蓄庫の設置等、防災品の調達まで、幅広く対応させていただくことが可能です。

今後も、札幌市様の防災対策に貢献してまいります。



■防災備品の棚卸模様



- ・雇用や産業の活性化につなげるまちづくり
- ・誰もが暮らしやすい安全で安心なまちづくり
- ・未来の社会をつくる子どもたちや青少年を支えるまちづくり
- ・環境に配慮し、緑化を進めるまちづくり

## 【まちづくり、未来の社会をつくる子供達への関わり】

### まちづくりについて(環境美化)

#### ・清走中イベントの実施

11月18日(土)、札幌市内の一部のエリアで市民参加型のゲーム感覚ゴミ拾いイベント「清走中」を開催。

本イベントはチーム制で行われ、各チームが協力して拾ったゴミの種類や重量そしてスマートフォンで通達されるミッションの達成度に応じてポイント換算。

チームで累計ポイントを競い合い、上位チームには景品を贈呈。

ポイ捨てされたゴミがアイテムに変わり、札幌の街を綺麗にできるため、「楽しさ」を感じながらゴミ問題について考えることができるイベント。

近未来の環境教育型コンテンツとしても注目。

環境美化とともに環境について市民の方々に考える機会を提供させていただきました。



あなたの意志と行動が  
地域、そして社会の元気にツナガル！

### えがおの感謝状

様

あなたは「清走中×セブン-イレブン」の清掃活動に参加し、江東区の自然環境の保護・保全に大きく貢献されました。

次世代につなぐこの取り組みにご参加いただいたことをここに証明します。

記

日時 2023年11月 日( ) 13:00～15:00

場所 北海道 札幌市 中島公園周辺

内容 ごみ拾いの清掃活動



主催 株式会社セブン-イレブン・ジャパン

後援 札幌市

協賛 セブン銀行

株式会社セブンカードサービス

企画 Gab





## 未来を担う子供たちへ

### ・出張授業の実施

未来を担う子どもたちに将来を考えてもらうために出張授業を実施。  
弊社のSDGsの取り組みを通じて環境について自分事として捉えてもらう。  
職業講話を通じて自分が社会に出る時のイメージを持ってもらう。  
未来世代との双方向コミュニケーションをし、未来に向けた取組を実施しています  
札幌市内小学校、中学校、高校合計16校への出張授業を実施



## 必要な支援が届く社会へ

### ・社会福祉協議会への寄贈

札幌地区事務所にてフードドライブを実施。集まった食品は札幌社会福祉協議会へ寄贈。改装時閉店などで発生した商品についても寄贈を継続。

### ・児童養護施設への寄贈

地域限定販促(地域フェア)の対象商品の売上の一部を使い児童養護施設へ7プレミアムののお菓子の寄贈を実施。





- ・CSV × DX(地域社会課題解決)
- ・事故を起こさないまちづくり
- ・テレマティクス技術を活用した安心・安全なまちづくり

### 社会課題解決にチャレンジしたまちづくり

冬季の水道管破裂等による損害は修理費用やマンションであれば補償をめぐって住民間のトラブルに発展致します。札幌市水道局企画課様と連携をして注意喚起のための啓発チラシを作成致しました。市民の皆さまに注意を呼び掛けることで事故発生前に事前通知を行います

### 災害につよいまちづくり

日常や事業にひそむリスクを軽減し、万が一の場合には、被害の軽減と早期回復を支援してまいります。最先端のデジタル技術やビッグデータを掛け合わせし新しい社会を作り出してまいります。「労務リスク対策セミナー」「SDGs 経営実践セミナー」など無料WEBセミナーを実施。地震・水災時におけるBCPを展開致します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

3.SDGs  
「SDGs」をテーマとした文庫メニュー

### テレマティクスを活用した誰もが安心・安全に暮らせるまちづくり

自動車保険で取得した走行データを活用し、地域・社会のさまざまな課題を解決してまいります。お子さまや高齢者と同居されているご家庭、保育園や介護施設を運営する事業者さま高齢ドライバーの皆さまに安心・安全をお届け致します。







- ・ 健康づくりを通じたまちづくり
- ・ 災害に強い安全・安心なまちづくり
- ・ 雇用や産業の活性化につなげるまちづくり
- ・ 身近な暮らしの安全・安心に取り組むまちづくり

## ◆札幌市とウェルネス協定締結に向けた動き

2023年9月6日と7日の2日間、東区にあるコミュニティドーム「つどーむ」において「サツドラFES2023」が開催されました。健康や美容、食、日常生活に関わる情報の提供や体験を通して、健康づくりを応援するイベントで、今年初の自治体ブースを設置。サツドラと札幌市が取り組むウェルネス(健康寿命延伸)の推進に向けての第一弾として、野菜摂取量の測定と啓蒙を実施し、「もっと 野菜」を呼びかけました。



## ◆札幌市内の小学校に掃除用商品を寄贈

サツドラとコープさっぽろ、花王グループカスタマーマーケティングの3社で、札幌市内の小学校200校へ掃除用商品を寄贈しました。



## ◆第51回全国消防救助技大会in札幌に協賛

札幌市民の生命と財産を守る消防隊の全国イベントが2023年8月25日に開催されました。サツドラでは全国から多くのギャラリーが集うイベント内での新型コロナウイルス拡散防止のために消毒シートを寄贈しました。



## ◆冬期間の転倒防止に、「砂まき用砂袋」を店頭で配置

冬期間、歩道などでの凍結路面により自己転倒事故が多発します。サツドラでは、歩道や店頭での転倒防止に対し、札幌市や北海道などの行政と協働して転倒防止のための砂まき用砂袋を配置し、運用して転倒予防に協力しています。

※配置・運用:一部の札幌市内OTC店舗と独立調剤薬局

## ◆身近な暮らしの情報を発信

自社のホームページに「連携自治体からのお知らせ」を設け、毎月発行される「広報さっぽろ」をWebから閲覧できるようにしています。

